

小栗家の墓所

大成村普門院（さいたま市大宮区大成）

上記④忠政は上野邑楽、多胡、（高崎）、武蔵足立（足立郡大成村）の3郡及び下総矢作領で2,550石の采地を賜った。忠政62歳で死去。忠政死去で2,000石は長男政信が継ぎ550石の足立郡大成村が次男信由に分け与えられた。④忠政はなぜか次男の領地 武蔵足立領足立郡大成村の普門院に埋葬された。以後大成村普門院は忠政の次男の葬地となった。

麴町福寿院

忠政三男の信友は大阪の陣の功勞で330石の采地を賜った。本人は普門院へ埋葬されたが以後は麴町福寿院が埋葬地となっている。

四ツ谷心法寺

③吉忠は駿府城で死去し駿河の心寶寺に埋葬されたがその後四ツ谷心法寺へ移された。（現在どうなっているのか？④忠政が心宝寺に埋葬されなかった理由も不明。）

牛込保善寺

忠政の長男(2000石を継いだ宗家)政信はその後甲斐に500石与えられ2,500石となった。77歳で死去 牛込保善寺に埋葬され以後宗家代々の葬地となっていく。牛込保善寺の小栗家の墓は小栗家が神葬祭に移ったのでそれを機に豊島区雑司ヶ谷霊園に移された。

豊島区雑司ヶ谷霊園

保善寺から移した小栗家宗家の墓所。

墓石の表は「小栗家累代の墓」裏には「小栗上野介 妻道子 小栗貞夫 妻国子」と刻まれているが保善寺にあった墓を神葬祭に変わったのを機に移し大正元年忠順の娘(国子)婿貞夫氏が建立したもの。小栗上野介に関しては供養墓と思われます。（埋葬されていない）

参考 <https://wheatbaku.exblog.jp/26174584/>

御子孫が現在も供養管理しているところでもあります。

新潟市福音寺

⑫忠高（上野介忠順の父）は⑪忠清の娘くのにの婿養子（駿河台の隣の家の旗本中川飛騨守忠英の4男）新潟奉行だったので墓所は新潟市福音寺。

高崎市東善寺

⑭小栗上野介忠順の家禄は宗家から引き継いだ2,500石（数か所の合計）に渡米使節の功により200石加増され2,700石になった。慶喜へ徹底抗戦を訴えたが恭順を決めていた慶喜からお役御免となり権田村観音山に個人所有地があり権田村人との結びつきが強かったので375石の権田村へ土着。そして新政府軍に捕縛され斬首高崎市東善寺に埋葬された。小栗上野介と養子又一の墓所。

住職の村上泰賢氏は「小栗上野介」の講話を東善寺で実施している。4冊の著書もありホームページでも多くを説明している。「またも辞めたか亭主殿」の主演岸谷五郎と稲盛いずみも訪れている。作家佐藤雅美氏も住職の意見を参考に著書を書き上げている。